

新公立刈田綜合病院の実設計概要②

今月号は、新病院の運営方針、運営システム、情報システムについて紹介します。

運営方針

地域に対して責任の持てる、質の高い医療を行います。
患者さんに対して各専門部門が協力し、チーム医療を行います。

地域のかかりつけ医、診療所、病院との機能分担、機能連携を図ります。

二十四時間対応の救急医療を行います。

災害拠点病院としての機能を整備します。

快適で機能的な病棟療養環境を整えます。

親切で行き届いた医療サービスをを行うために、各種相談室を設けます。

健康な方にも利用していただけるような予防と、健康増進機能を持つ病院にします。

運営システム

運営システムは、以上の方針に沿って、患者さんにわかりや

すく、信頼される地域の病院として生まれ変わることを目的とします。

機能面について

①カルテは一人の患者さんに対して一冊にまとめられ、一患者一ファイルとします。検査結果や薬など医療情報をコンピュータ入力して、患者さんにわかりやすい説明をします。それによって、患者さんが適切な医療サービスを選択できるよう配慮されます。

また、薬の不適切な投与や二重の不必要な検査を未然に防ぐことができます。

②新たな神経内科、脳神経外科や循環器外科を整備することで、高齢者に多い循環器系疾患（心臓・脳血管・血管などの病気）に対する診断、治療および救急医療体制を充実します。

③患者さんが、なるべく早く自立した日常生活に復帰できるように、家族を含めた指導、相談、リハビリテーションや在宅訪問

サービスの充実を図ります。

④地域のかかりつけ医など保健、医療、福祉関係者との合同会議や、公開健康講座を積極的に開催したり、ホームページや広報誌を通じて、健康に関する情報や地域サービス機関の情報を提供して、皆さんの健康レベルの向上を図ります。

外来診療

①外来部門を一階に集約し、受付、診療科を四つのブロックにまとめます。

②初めての外来患者さんは、中央の受付で手続きをしますが、再来の患者さんは、次の診療日時を予約することで診察の待ち時間を大幅に短縮します。

③地域の医療機関から紹介された患者さんは、事前に診療予約の登録が可能となります。

④医師の指示や検査などがコンピュータにより迅速に伝達され、薬の処方箋、会計などの時間を短縮します。

⑤患者さんのプライバシーを守る

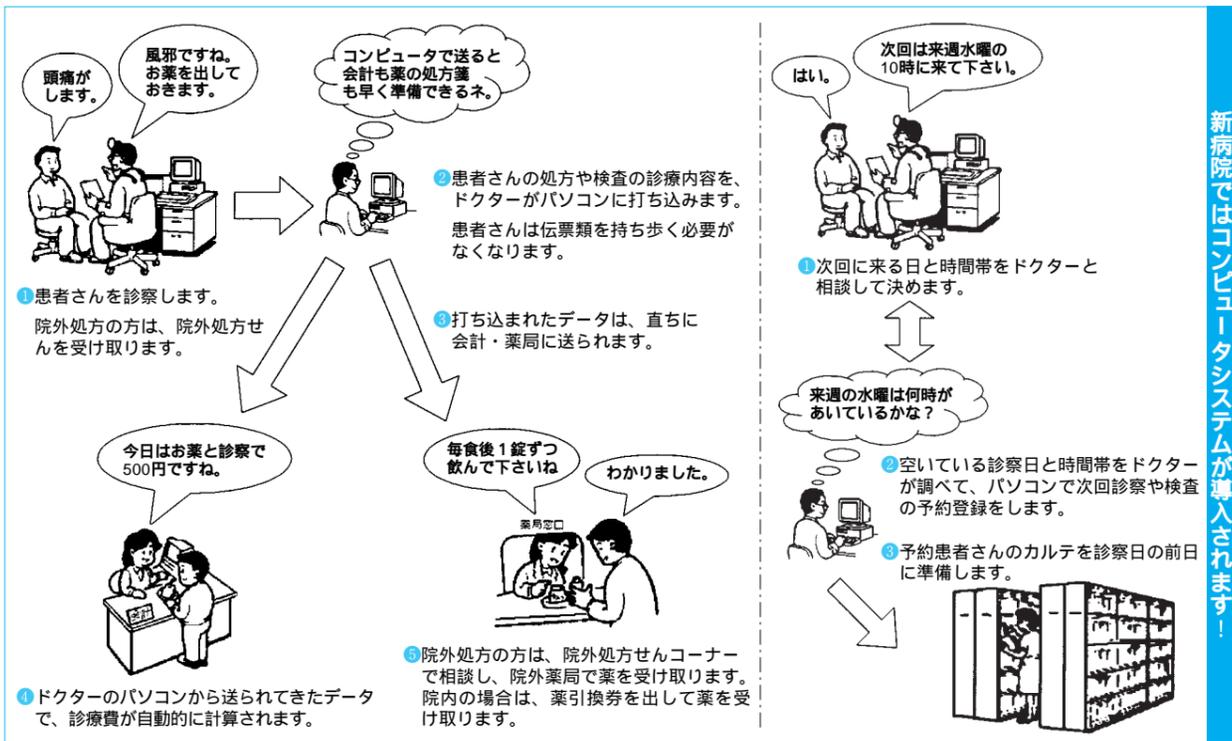
医療情報システムは、二十一世紀における医療のあるべき姿をしつかりと見据えて、質の高い医療サービスをを行うと同時に、業務改善、経営改善を図ることを目的とします。

情報システム

①患者さんの重症度や症状に応じて、集中治療室、急性期病棟および慢性期病棟で、それぞれ適切な医療サービスを行います。そのため設備、機器、療養環境を整備し、医療スタッフを配置します。

②入院時から医師、看護婦だけでなく薬剤師、理学療法士など各医療スタッフがチームを組んで計画的にサービスを提供し、早期の回復に努めます。

③退院までの治療計画や退院後の療養については、入院時や入院中に紙面でわかりやすく説明し、患者さんや家族が安心して積極的に治療に専念できるようにします。



システム名	内容
病診連携	紹介患者や在宅医療患者の情報管理を行う。
手術部	手術のスケジュール管理、使用材料入力、手術統計を行う。
看護部	看護婦の勤務予定、看護業務支援を行う。
放射線情報	放射線科受付、照射録作成、フィルム管理、統計を行う。
医用画像	デジタル画像情報の保存、管理、読影レポートの作成を行う。
臨床検査	検査受付、結果記録、報告書作成、精度管理、統計を行う。
薬剤部	服薬指導業務支援や医薬品情報検索、照会を行う。
給食管理	食数管理、献立管理、材料発注、在庫管理、統計を行う。
入退院管理	空床管理、入院・転科・転棟・退院の患者情報管理を行う。
病歴管理	疾病コード登録、入院経過要約、疾病統計を行う。
人間ドック	人間ドックの予約管理、結果記録、成績票作成を行う。

各部門の情報システム

①診察、外来会計、処方箋などの待ち時間の短縮につながります。

②診療情報の共有化による医療

オーダーリングシステム

医師が外来および病棟において処方、検査、注射などのオーダーを直接コンピュータ入力することにより、正確かつ迅速なオーダー情報の伝達が行えます。システムを採用することにより、次の効果があります。

①診察、外来会計、処方箋などの待ち時間の短縮につながります。

②診療情報の共有化による医療

③オーダー内容の自動チェック機能により、伝票記入漏れ、記入ミスの防止ができます。

④転記作業の省力化、業務時間の短縮化を図ることができます。

⑤患者さんに対するインフォームドコンセント(説明と同意)や、教育指導などが十分に行えます。

⑥保険請求漏れの防止により、病院収入のアップにつながります。

その他の情報システム

医事会計、細菌検査、物品管理、イントラネット(院内情報ネットワーク)、病院経営管理、財務関係、人事給与、医学研究支援

以上のようなシステムを、運営システムと連携させることにより、業務の効率化や省力化が進み、各部門の診療をしつかりと支えることができます。

次回は構造と設備などについて紹介します。

お問い合わせ先
公立刈田綜合病院庶務課
☎25 2145

